

「第7回 サンプルダムモニタリング部会意見概要」

① モニタリング総合評価（案）

- ・ 将来的な水温の変化について、気候変動の影響に限定するような記載となっているが、ダムによる影響にも留意する必要があることを追記したほうがよい。
- ・ 現状の堆砂量について、事前の想定と比較して評価すること。

② フォローアップ調査計画（案）

- ・ 流水環境であったところにダムができたことで止水環境ができ、環境が急激に変化する。一方、サンプルダムでは止水環境を迂回する魚道があり、流水・止水が混在する比較的特殊な環境のため、通常のダムにない多様な生息環境にも留意していく必要がある。
- ・ 特に底生動物については、流況の変化だけでなく河床材料の変化にも留意すること。

③ その他の意見

- ・ 今回のモニタリングでとりまとめられた知見や評価結果などについて、今後のダム関係者や担当者が十分に理解し円滑に引き継がれるように整理すること。